

龍谷大学 校友ご縁めぐり

～広がる校友ネットワーク～
詳細は5面へ

「ご縁めぐりとは」
「龍谷大学 校友ご縁めぐり」は、龍谷大学の校友(卒業生)が、全国に広がっている校友に因縁する寺院を知り、参詣することで、龍谷大学が育んできた仏教の学びに再び触れ、混んとする社会のなかで不安を抱きながらも、えがたい、尊いのちを生き抜く「新たなご縁」が生まれることを期待して名付けられたものです。

龍谷大学校友ご縁めぐりに協力いただける寺院等の詳細はHPを通じて随時更新します。
寺院を参詣することで、気づきや安らぎを得ていただき、新たなご縁をつないでいただければ幸いです。

卒業生が2024パリオリンピック、パラリンピックに出場!

女子バレー福留慧美選手(20年経済卒)がパリオリンピック2024にリベロで出場。決してあきらめず、ひたむきに何度も何度も窮地を救った福留選手は、海外でもさらに技術に磨きをかけられ、応援にも力が入りました。オリンピック代表入りが決まり、パリに出発する直前の時間がない中でしたが、大学と校友会とで急遽オンライン壮行会を開催しました。

入澤学長、赤松会長をはじめ、福留選手に縁のある方々と現役女子バレー部員からメッセージ、応援団員からエールをいただいたことへの御礼を伝えたいと、オリンピック出場後、早々に大学を訪ねてくれました。

校友会報No.96「校友最前線」で取材させていただいた際にもオリンピック出場を視野に、大変な努力を

福留選手報告会(深草キャンパスにて)

藤田選手壮行会(龍谷大学付属平安高校にて)

龍谷大学 校友会報

Ryukoku Univ. Alumni News No.99

【校友総数 220,000名】
2024(令和6)年9月30日
第99号
発行=龍谷大学校友会
編集=校友会広報部
https://www.ryukoku.ac.jp
京都市伏見区深草塚本町 67
龍谷大学内
校友会事務局
TEL075-645-2015 FAX075-645-2017

校友会賞授与式、校友総会&交流会、校友最前線・2面
Who's who、校友会海外留学サポート奨励金・3面
入澤学長「問はず語り」……4面
特集「龍谷大学校友ご縁めぐり」……5面
学部同窓会、サークル、OBOG会の活動……6面
支部の活動、コラム……7面
仏教に学ぶ、校友のお店……8面

4月26日、京都駅近くのホテルにて、90名が集まり設立しました。

「経営者の会」は、経営の任にある、またそれに準ずる卒業生同士が親交を深め、助けあうとともに龍谷大学の発展にも寄与できる組織を目指しています。当日は、設立総会に続き、記念講演会もハイブリッド開催。

設立総会では、初代会長に清水卓智さん(80年法卒、株式会社P.H.P.研究所前代表取締役社長)が選出されました。

記念講演会は、本学卒業生として、「あらためて仏教の学び直しのきつ

龍谷大学校友会 「経営者の会」設立

幅広い業界経営者の交流に期待

その後の交流懇親会では、世代や業種を超えた交流の時間となりました。

様々な業界で活躍されている経営者の皆さまと「龍谷大学卒業生」というたった一つのキーワードで活動していただけることは大変、心強いことです。

「経営者の会」は、日本国内だけでなく、世界中でご活躍の経営者のみなさまのご入会をお待ちしております。ぜひお問い合わせください。

「経営者の会」の詳細・入会の問い合わせはこちらのQRコードから

新支部設立のご案内

24年度は、「経営者の会」の設立に続き、12月に「静岡支部」、25年2月に「龍谷福祉の会(仮称)」が設立予定です。

【日時】
25年2月23日(日・祝)
【場所】
龍谷大学深草キャンパス

龍谷ミュージアム

秋季特別展 「眷属」

「眷属」とは、仏や菩薩など信仰の対象となる主尊に付き従う存在のこと。絵画や彫刻では、主尊のまわりにあらわされ、仏法を守護したり、主尊のパワーを示したりしています。

本展では、仏教美術の名脇役ともいえる眷属たちの個性豊かな姿や役割を、昨年度の特集展示から内容を大幅に拡大してご紹介します。

◆会期:2024年9月21日(土)~11月24日(日)
◆休館日:月曜日(ただし、9月23日(月)、10月14日(月)、11月4日(月)は開館)、9月24日(火)、10月15日(火)、11月5日(火)
◆開館時間:10:00~17:00(10月4日、11日、18日、25日は~20:00) ※最終入館受付は閉館30分前まで
◆入館料:一般 1,600円
◆問い合わせ:龍谷大学 龍谷ミュージアム
TEL: 075-351-2500
https://museum.ryukoku.ac.jp/

2024年度ホームカミングデー

学生模擬店チケット1,000円分
卒業生、同伴者全員に進呈

◆10月26日(土) 深草キャンパス
受付 10:00~15:30
模擬店開店時間 10:30~16:00

◆11月3日(日・祝) 深草キャンパス
受付 10:00~15:30
模擬店開店時間 10:30~16:00
龍谷賞贈呈式 11:00~11:30(顕真館)

静岡支部 設立総会

県内に約一、二〇〇名の卒業生がお住まい、または勤務されている静岡県に、支部設立に向けての準備が進められています。10月には静岡県在住の皆さまにはご案内が郵送される予定です。詳細は10月以降に校友会HPでご案内していきます。

【日時】
24年12月21日(土)
14時~19時(予定)

【場所】
ホテルアソシア静岡
(JR静岡駅徒歩1分)

福祉支部

(通称「龍谷福祉の会」)

「設立総会・記念講演会」&「祝賀会」
保育・福祉・介護に従事・活動する校友の会で、建学の精神を学び、現場で活躍されている多くの卒業生の「よりどころ」として、会員相互の親睦・交流、研修、在学生への支援などに取り組みます。

【日時】
25年2月23日(日・祝)
【場所】
龍谷大学深草キャンパス

龍谷ミュージアム

秋季特別展 「眷属」

大威徳明王像(部分) 絹本着色
鎌倉時代 東京・霊雲寺
(展示期間:9月21日~10月20日)

◆会期:2024年9月21日(土)~11月24日(日)
◆休館日:月曜日(ただし、9月23日(月)、10月14日(月)、11月4日(月)は開館)、9月24日(火)、10月15日(火)、11月5日(火)
◆開館時間:10:00~17:00(10月4日、11日、18日、25日は~20:00) ※最終入館受付は閉館30分前まで
◆入館料:一般 1,600円
◆問い合わせ:龍谷大学 龍谷ミュージアム
TEL: 075-351-2500
https://museum.ryukoku.ac.jp/

「龍大川柳」大募集!

テーマは『龍大』

1、参加対象(部門) ①卒業生部門 ②在学生部門
2、募集期間 2024年10月1日(火)~11月20日(水)
3、応募方法 募集開始時にホームページに掲載
4、賞品 大賞(1名):5万円
その他、各賞・副賞あり
~次号にて結果発表(予定)~

求ム!
新支部設立のご案内および上記の詳細はこちらのQRコードから

煩惱とクリエイティビティ

KLESHAS AND CREATIVITY

2024年度煩惱とクリエイティビティ

■トークイベント ※同日、体験型イベントも開催予定
第1回:12月7日(土)
ゲスト/松本紹圭氏(東京神谷町・光明寺僧侶)
第2回:2月1日(土)
ゲスト/渡邊康太郎氏(コンテキストデザイナー)

■ラジオ配信中 ■詳細はこちらから

龍谷大学校友会 公式SNS SNSを通じて色々な情報を発信していきますので、是非ご登録をお願いします。

Facebook Instagram X (旧Twitter) LINE

龍谷ミュージアム 無料で優待券
期日:2024年11月24日(日)まで
(同伴者1名を含め無料でご入館いただけます)

第24回 校友会賞受賞者

課外活動などで顕著な成績を上げ、母校発展の気運を盛り上げた学生(在学生)に対して、その功績を称え、表彰しています(学年は23年度)。

5月21日、創立記念・親鸞聖人降誕会の日、深草キャンパス顕真館において龍谷大学校友会贈呈式が執り行われました。



個人 岡明澄(先端理工学部4年)

液晶を専門とする研究において、修士以下の学生を対象とする国内学会30歳以下の若手研究者を対象とする国際学会の2つで受賞されました。



個人 神谷鈴(文学部3年)

校友会体育局柔道部所属フランスジュニア国際大会、世界ジュニア選手権大会と2つの国際大会で優勝という快挙を達成し、グラウンドスラム東京2023(国際大会)女子52kg級で日本代表に選出されました。



団体 吹奏楽部(4名)

第47回全日本アンサンブルコンテスト(大学の部)において、高い個人技術に加え、豊かな音楽性とアンサンブル力が要求される難易度の高いサクソフォン四重奏で金賞受賞し、第71回全日本吹奏楽コンクール(大学の部)での金賞受賞にも貢献しました。



校友会総会 & 交流会

〜学食で盛り上がりました〜

6月8日、24年度校友会総会 & 交流会を深草キャンパスで開催しました。校友会総会では、赤松校友会長のご挨拶に続き、議長に荒川副会長が選出されました。菅谷事業部長が23年度の報告と24年度の校友会の取組みについて、成松総務部部長が23年度決算と24年度予算について、泉広報部部長が「ご縁めぐり」などの新しく始まった広報の取り組みなどについて説明しました。

その後、22号館地下食堂に移動して交流会を開催。交流会では、各自トレーをもつて並んでいたメニューや見たことのない新しいメニューに卒業生も同伴されたご家族も大盛り上がり。

食事の前に龍谷大学農学部と近江麦酒株式会社プロジェクトの学生さんたちから、コロナの収束により大量廃棄が懸念されている「感染防止アクリルボード」再利用に着目して開発した「レコリル」という交流ツールについて説明いただき、スマホにかざすと動画ページにつながる「レコリル」で簡単な動画編集などを学びながら交流を深めました。



ご家族で学食を楽しんでくださいました

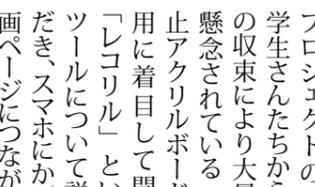


学食&ビール

社、大津市上田上地区が連携して開発した「菜の花エールビール」で乾杯。「学食を食べながらビールが飲めるのは校友会イベントならでは」と、笑い声が各テーブルからこぼれました。交流会会場ではフルーツやデザートとともに、校友のお店から取り寄せた各種スイーツも大好評。

交流会中盤からは、学生団体「#ツナガルアクリルプロジェクト」が開発した「交流ツール」を使ったワークショップを実施。

プロジェクトの学生さんたちから、コロナの収束により大量廃棄が懸念されている「感染防止アクリルボード」再利用に着目して開発した「レコリル」という交流ツールについて説明いただき、スマホにかざすと動画ページにつながる「レコリル」で簡単な動画編集などを学びながら交流を深めました。



参加者の方々から、「学食が懐かしく、かわらず美味しかった」、「現役生の交流ツール」

交流ツール「レコリル」



皆さんがこんな素晴らしい発想で活動をしていることがますます誇らしく感じた。「知らなかった人とも楽しく時間を過ごせました」などの感想をいただき、和やかで楽しいひと時をお過ごしくださいました。

学生レクチャーを受けながら

校友最前線

今村 日向子さん (19年農卒)



プロフィール
管理栄養士、未病栄養コンサルタント。大阪府出身。4回生で管理栄養士国家試験合格。管理栄養士の資格を有しながら、いわゆる「栄養士」の重要性を説き、伝えたいことを仕事とし、追及されています。

病気の予防・治癒には「分子栄養学」も選択肢のひとつ

栄養学という分野は、どんな人にもアプローチができる裾野が広い世界です。管理栄養士は自分で分野を制限しないで、幅広く挑戦し活躍できる仕事です。

なぜ農学部へ

大学受験で進路を決めるにあたり、世の中の医療はどんどん進化しているのに、なぜ治らない病気や難病があるのか不思議に感じていたことが学部選択につながりました。医学に興味がありました。医者に医師として一人前になるには時間がかかり、また治療よりも予防が大切なのではと考えていましたから自分が目指したいものは「治療・薬学」よりも「予防・栄養」という分野だとの思いに至りました。

自分の仕事を探す日々

卒業後は、管理栄養士としてではなく、「食品を購入する行動学」の方に興味を持ち、パッケージなどを扱う会社へ就職。商品管理部門で働きました。その影響で扱う商品がごろっと変わり、世の中の動きや食行動に違和感を感じ、健康を考える仕事をしたいと思うようになりパーソナルトレーナーに転職しました。「健康の追求」をしたいという思いでパーソナルトレーナーを始めたのですが、「ただ痩せたい」という人々の要望の中で、ここでも違和感を感じることになりました。そんな時に「分子栄養学」に出会い、自分が学生時代に勉強していたことが、その後、仕事をしていく中で模索していたことが「分子栄養学」に出会う「これだ」と感じて、そこから猛烈に勉強を始めたのです。一つ一つの細胞から

変えていくという考え方に興味を持ち、未病という分野に挑戦していきたい。そんな思いを強く持つようになった。現在は、歯科医で分子栄養学をもとにしたカウンセリングの仕事をしています。「なぜ歯科で栄養学のカウンセリングを？」と思われるかも知れませんが、院長先生も「分子栄養学」を学ばれており、単に虫歯を治すだけではなく、人の病気などの治療には栄養学が必要であるという考え方で、栄養素を考え、食事などの意識が変わると治療が変わってくるということを伝えています。今後は栄養素の重要性をいろんな方に広めていくことに取り組みたいと思っています。まずは身近な人から始めてみよう。結婚してからパートナーもニキビが改善されました。食事のとり方の重要性を互いに実感している日々です。自分自身、あるいはまわりの方が病気になった時、医療や薬の治療と共に、選択肢の一つとして栄養学があると思っていま。栄養学を広めることで、人の意識が変わっていく。現代や未来に懸念されている「医療費問題」についても課題解決のひ

とつになるのではということにも向き合っていました。



学生時代の思い出、ハワイ大学への短期留学修了式 真ん中が今村さん

校友の著書

サクッとわかる! 社会福祉法人 経営実務検定試験 入門 公式テキスト&トレーニング 桑原知之 (92年法院了) 『入門』 A5版176頁ネットスクール出版 1,600円+税 23年8月20日発行 ISBN 978-4781003528

サクッとわかる! 社会福祉法人 経営実務検定試験 会計 1級 公式テキスト&トレーニング 桑原知之 『会計1級』 A5版464頁ネットスクール出版 3,200円+税 22年10月10日発行 ISBN 978-4781003290

「くろはみ」 橡と石垣 (85年文院了) 大辻隆弘 256頁砂小屋書房 3,000円+税 24年4月14日発行 ISBN 978-4790418856

校友 Who's Who

地歌箏曲奏者 菊 央 雄 司 さん (99年経済卒)

プロフィール 人間国宝菊原初子の後継者、地歌演奏家菊原光治の演奏に感銘を受け12歳で師入門、後に「菊央」の称号を授かる。上方胡弓を菊津木昭に師事。平家琵琶を今井勉に師事。以後、地歌三味線などの伝統を継承しながらも現代邦楽や新しいスタイルでの演奏などの活動に携わる。23年「芸術選奨文部科学大臣新人賞」受賞

邦楽を演奏する楽しさと、伝統を探究する楽しさ。



楽器との出会い 小学校の頃はフルートをやっていました。五線譜が読めず、耳でコピーしたりしてお稽古に通っていたところ、それを指摘され自分には続けるのは、むずかしいと考えました。 父親に五線譜を使わない横笛の道に進みたいと相談したところ、日本の音階である五音階の勉強をするならお琴の先生が良いだろうということ。菊原光治師の稽古場に連れて行ってもらいました。その時に聴いた三味線の「ピーン」というサワリの音が何とも言えず心地よく「いったい何なんだ？」と衝撃を受けました。これが三味線を始めようとしたきっかけで入門しました。父は私の将来は、職人のような手に職を付けるか、舞台で演奏する仕事についていた方がよいだろうと思っていました。宝塚で照明

もちろんのこと、先生のご自宅にお邪魔してお稽古をしていただくことができました。 師匠のもとには通いで修業していただきました。通いと言っても、朝に師匠宅に入り、師匠が就寝するまでずっとお宅にいて修業する毎日でした。

厳しい世界を突破

その後師匠と共に演奏することができるようになりました。まだまだ若造ですが、逆に若くてフレッシュだとお仕事をいただく機会がありました。ところが30代になって独り立ちを許されると、師匠から仕事が変わってくることはなく、むしろ、徐々に仕事をしなくなりました。知人の伝手を頼りに仕事をいただくことはあっても、本当に厳しい世界です。この世界で生きていくのを諦めるか悩んでいると、そういう時に不思議なことに、賞をいただくことができたのです。また仕事が減ると別の賞を受賞する。そんなことの繰り返しでした。

の仕事をしていた父からすれば、ライトがあたる側に子どもを立たせたかったという思いがあったのかも知れません。よく長年稽古を続けさせてくれたことだなどと、今は父に感謝しています。 伝統芸能をしている周りの人々は、代々尺八をしていったり、伝統のある家庭で育った人が多いです。六歳の六月六日の稽古始めの日から、お稽古を始めるといった家柄の方ばかりで、私が三味線を始めたのは12歳です。から当然ハンディキャップはありました。 修業を重ねた龍大時代 龍大の邦楽部の先生が人格者で指導力もある方でした。大学に入る前頃からお琴も弾けるようにならなれないと聞いていたところ、師匠が私のために頭を下げてくれました。そのおかげでお琴は初歩から習うことができました。大学では



抜きに趣味をお持ちの方が多くいます。でも私は趣味がそのまま仕事。ですから演奏することが楽しくて仕方がない。ずっと演奏していたのでリサイクルなど仕事が目前にせまっても格段モチベーションが上がることもありません。

ひとり音を聴く、身体に音を取り込む

実は人前や舞台上で演奏することはあまり好きではありません。緊張しますが、それよりも、きちんとか演奏できているのかどうか気にします。ですから、稽古場などで一人で音に向きあう、楽器と向きあう時間のほうが好きですね。誰もいないところでひとり三味線を弾き「これはいいな」と感じる。それができる時間が好きです。そういう感覚が人生を終えたいと思うほどです。

息子が二人いますが、厳しい世界ですから、子どもたちにも勧められるものではないと思います。本人がやりたいというのなら別だと思っています。 私の世界の周りの人々は、たいがい家系であったり、藝大などで勉強してこれを仕事としている方ばかりです。 世間一般では仕事の息

三味線は琵琶と違って、樟ギターというネックの部分に仕切り(フレット)がありませんから、演奏の自由度は増します。その分音を聴き、身体に取り込むことが必要です。どれだけ自分の音として取り込んでいくかが大事だと思います。

邦楽のこれから

近年は邦楽の演奏も洋楽とコラボするなど新しい取り組みに眼が向けられがちです。私もそういう演奏をする機会がありますが、古い伝統のあるものが軽視される傾向があることは否めないとこです。確かに毛色の違う新しいものができあがるという面白さはあるのですが、そればかりしていると結局なにもない。三味線を弾き「これはいいな」と感じる。それができる時間が好きです。そういう感覚が人生を終えたいと思うほどです。

昨年、「芸術選奨文部科学大臣新人賞」をいただきました。これは私ひとりではなく、周りの方々のご支援とご協力によるものです。今後の目標ですが、三味線ができた当時(江戸期)の三味線組歌全曲(32曲)をリサイタルで演奏したいと思っています。ほとんど誰も演奏しなくなつたものを演奏をするという作業は、芸術というより研究・探究の域だと思っています。伝統を廃れることのないように残したい。この32曲を自分の身体に入れるとどうなるのだろうか。自分にしか見えない世界を見たい。全32曲を身体に入れて演奏した人しか見えない世界。まだまだ大変な道ですが、私はこの演奏を続けていきたいと思っています。

「校友会海外留学サポート奨励金」を利用して海外研修に参加した学生さんに聞きました。

校友会は、本学開学380周年記念事業の一環として、19年度に学生の皆様に対して校友会海外留学奨励金として本学に1年一千万円(5年間で合計五千万円)の寄付をいたしました。この奨励金で留学や海外研修に参加された学生は210名にのぼります(24年7月現在)。この奨励金を利用してベトナムの海外研修に参加された松浪さんに、赤松校友会長にご同席いただき、海外研修での体験についてお話をうかがいました。(松浪愛音さん 国際学部3年生)

まず、このサポートを受けて海外研修に参加された松浪さんより報告していただきました。

松浪 高校時代はコロナ禍に加え、部活中心の生活で、留学や海外研修への参加について考える余裕はなかったのですが、伯母が20年以上アメリカで働いているので、その影響から語学や海外研修への参加に関心をもち、勉強ができる環境に自分を置きたいと考えるようになりました。

現地では日系企業の訪問や、ハノイ大学をはじめとする現地大学生との交流、さらには生活や文化を学ぶことができました。言語についても、日常の挨拶や簡単なやり取りから学び、苦勞はありましたがコミュニケーションを取ることができました。他人を頼り、助けられること、自分のできることを数倍に膨らみ、行動を共にすることで相手の国民性を知ることができましたし、相手の文化に興味を持つことが相手に歩み寄ることになるのだと痛感しました。完璧でなくても、1フレーズでもいいから話しかけることの大切さを学びました。すごく成長できたと思います。

また12日間を共にした仲間との交流は現在も続いていきます。 今後はもっと話す力を付けたいです。スピーキング能力ですね。どこに滞在することになったとしても、日本ほどインフラが整備されていない国でもしっかり対応できる能力を持つことが目標です。どのような場面でも地に足をつけて立てるようにしたいです。

赤松 国際学部が深草キャンパスに移る際に二つの学科ができました。国際文化学科は多様な他者をつなぐ人材を育成することを目標としています。またグローバルスタディーズ学科は日本だけでなく、学生一人ひとりが多岐のことに挑戦する4年間を過ごされます。海外へ留学する学生、また本学へ留学してくる学生も千人を目標としています。この制度はそれを支える制度のひとつです。

松浪 今回の海外研修でも、支えていただいた方々には本当に感謝しています。また他の国・地域からの留学生も数多く、一緒に過ごした経験は今後も活かせると感じています。

赤松 そういった交流の中で、今後日本の文化を紹介するならば、どのようなことを紹介したいと考えていますか。

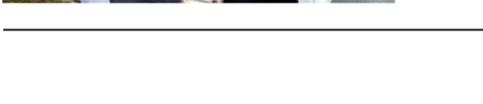
松浪 日本語を紹介したいですね。他言語に比べて、高い目標に向かってさらにキャリアアップを目指してください。 松浪 ありがとうございます。



一番左側が松浪さん



それぞれの国の装いで記念写真 右から2番目が松浪さん



入澤学長「問わず語り」

ある日(23年11月28日)の学長法話より

親鸞聖人誕生850年に際し、その教えを聞く



イラスト 小西智子

「平和は力では保たれない。平和はただ理解し合うことよってのみ保たれる。」
科学者アインシュタインのことばです。
連日ガザの悲惨な状況を、テレビやSNS等でご覧になられて、皆さん胸を痛めておられることと思います。戦争は人間が引き起こします。そして大変悲惨な状況になります。また、そこで使用される軍事兵器は、人間の生み出した科学技術に裏打ちされているわけですが、科学技術、それが時に暴走をします。核兵器の開発というものがその最たるものでしょう。そして最近ではAIとりわけ生成AIに対する関心が高まってきて、私達の教育現場においても、今後非常に強い影響を受けるのではないかと思われま

す。今日は、一冊の漫画雑誌を持ってまいりました。漫画雑誌を手に取るのは私にとっては50年ぶりです。亡くなられた手塚治虫さんの人気漫画の『ブラックジャック』。この度、それを生成AIが40年ぶりに創り出した『ブラックジャック』が終わって40年。生成AIの力によって復活を遂げたということなのですね。

手塚治虫さんの描かれた『ブラックジャック』、それをすべて生成AIに読み込ませる。今回は人工心臓が一つのテーマであります。人工心臓とありますが、人工心臓というコンセプトを生成AIに投げかける。そうすると手塚治虫さんならこういうふうなストーリーをつくるだろうというアイデアを生成AIが提示します。そして今回、生成AIが『ブラックジャック』のストーリーとキャラクターを生み出し、最終的にはクリエーターの皆さんが微調整をして、一つの作品が出来上がったというところですけれども、これは実は喜んでばかりはいられない。もちろん手塚作品の熱狂的なファンであ

いるとか、入試情報などはこういうポータルサイトで閲覧できるというように情報が折り込まれ、最後に「龍谷大学は歴史と伝統のある総合大学としてあなたの可能性を無限に広げる場所です」と結んであります。今後、この生成AIがどんどん発展を遂げていく。そうすると人間性を備えたAIが誕生して、人間性を兼ね備えたAI。実は何年前か前にある先輩教授から、このまま科学が進化していつか「諸行無常」と言えなくなる可能性もあるのではないかと、だから君、その対策をしてくれと言われたことがあります。その時は、「何をバカな」と思っておりまして。けれども亡くなられた方をAIが蘇らせることができるといふ。生きていた人のデータを全てAIに保存させて、そして、その人が亡くなり、この世から肉体は消失しても、その人のデータが全てあって、ボタンを押したらその人が蘇ってくる。そのようなことが今後生じてくる可能性がある。さて私達はこのAIというものをどういうふうに取り扱っていくのか、どういうふうに対処していくべきなのかというのを、本気で考える必要があると思

います。昨日、生成AIに「龍谷大学はどんな大学ですか」と尋ねました。そうしたらこういふ回答でした。「龍谷大学は京都府京都市伏見区に本部を置く私立の総合大学です。一六三九年に創立されてきた。歴史の経緯が書かれていて、吹奏楽部が活躍しているとか運動部だと女子バレー部が活躍して

はそれが暴走してしまう可能性があるわけですね。やはり車にはアクセルだけなくて、ブレーキというものがあつた。そのブレーキに相当するもの、それが宗教。そして科学と宗教をうまく両立させて、人間の営みというものを考えようではないか。私はこの精神というものが、今なお生き続けていると考へます。何もブレーキ役だから、そのアクセル部分の科学を否定するということではありませぬ。科学の力は、人間の進化であり、そして文明社会を築いていく上で必須なものです。けれども、そこで失ってはならないものを、やっとならぬことをしっかりと自覚することが必要であり、その為にはやはり宗教の視点というものをしっかりと備えておかなければなりません。龍谷大学の瀬田キャンパスは、「人間・科学・宗教」という科学と宗教そして、そこに人間の今後の営みをしっかりと考へた、自然科学系を中心とした学問の場があること、そして、キャンパス内にこうした礼拝堂があるということ、これは龍谷大学ならではの営みであるというふうなところに思っているところ

です。先程申し上げたAIが作り出す人間性を備えたAIというものを考へると「人間とは何なのだ」といふことを深く問うていかねばなりません。今回の漫画の中のワンシーンにも「人間って何？」と問う台詞があります。生成AIの生み出す人間性を兼ね備えたAIというものと、我々自身を保持した人間の違いがどこにあるのかというところを考へたとき、AIが生み出した人間というのは替

えがいくらでも大きくわけです。ところが、私達人ひとりは替えがきかない尊い存在なわけですね。自分にとって替わる存在というのは無いわけですね。そういう点からしてお釈迦様がこの世に誕生したときに何と言ったか。ご承知の通り「天上天下唯我独尊」と言ったと言われていると思います。これはもちろん伝説です。生まれたばかりの赤ちゃんが「天上天下唯我独尊」などと言はずなのですね。ところが後代の仏教徒はお釈迦様が誕生した時に、天上天下、我独り尊いと言った、とした。私は10代の半ばの頃、お釈迦さんが誕生して「天上天下唯我独尊」と言ったことを、なんて傲慢な考えだっというふうな受け止めてしまいましたが、お釈迦さんは35歳の時に悟りを開いた。だからそういう偉大な人格なんだ。それを誕生した時の言葉に盛り込んで自分一人が尊いというふうなことを言わせたというふうな理解をしている方が今なお結構いるんですね。けれども、仏滅後の仏教徒達が、人間が誕生したというその瞬間に、お釈迦様の口を借りて「唯我独尊」と言ったんです。自分自身が尊いというところ、この世に誕生した命あるものが尊いということ。お釈迦様の伝記を記したような文献、沢山残っています。命は尊い、命は美しいというふうなことを説く経典はいくつかあります。「天上天下唯我独尊」の正しい理解が必要

です。ですから、その観点でもう一度「天上天下唯我独尊」、皆さん一人ひとりが尊い存在なのだ、そのことを仏教は伝えてくれているということを認識する必要があります。自分だけではなく、一人ひとりがお互いが尊い存在であるという認識。それがあつて、初めて冒頭に述べさせていたいただきましたアインシュタインの言葉の「理解し合うことよってのみ平和が達成されるのだ」と私は思います。日常、私達の生活の中には、自分と違う価値観、自分とは違う意見を持つている人は沢山いるわけですね。その時どういう立場で、自分とは違う考へが述べられているのかということ、相手を理解しようとする姿勢が必要なのですね。そしてさらにはその根底に、私達人ひとりが尊い存在であるというところをしっかりと踏まえ、AIがどれほど進化を遂げたとしても身体を持ち、この命を得た存在、人間というものが、かけがえのない存在であるということを確認しなればと思ひます。ただ気を付けねばならないのは、他の生命体より人間が一番偉いのだというふうなことになる、これはまた自然界を人間が支配するとか、そういう発想に繋が

りかねない。「一切衆生無常なるものは全て尊い。全て命あるものが尊い」という発想。私達の心の底にそれをしっかりと据えておきたいと強く思っているところ

るならば「ブラックジャックが蘇った」ということで、私も読みましたけれども、そこには手塚色が満ちているわけですね。すでに亡くなられた手塚治虫さん、手塚さんならこういうふうな描くだろうというふうなことで、生成AIがそれを提示する。

私自身も小さい頃から手塚さんのファンでありまして、小学校に入る前、アトムクラブ(虫プロダクションのファンクラブ)に入つておりました。

手塚治虫さんの『火の鳥』という作品は、大学院生であった時に合同研究室で、仏教の非常に沢山ある研究書、それはもちろん大切だけれども、まずこの『火の鳥』をみんなど読もうじゃないかと言つて広めたことがありませぬ。手塚治虫さんはブツダに対する関心も高く、『ブツダ』という作品もあ

ります。この度復活した『ブラックジャック』を見て、生成AIがこういうことをどんでん返すことができるように、非常に複雑な気持ちになりました。

昨日、生成AIに「龍谷大学はどんな大学ですか」と尋ねました。そうしたらこういふ回答でした。「龍谷大学は京都府京都市伏見区に本部を置く私立の総合大学です。一六三九年に創立されてきた。歴史の経緯が書かれていて、吹奏楽部が活躍しているとか運動部だと女子バレー部が活躍して

えがいくらでも大きくわけです。ところが、私達人ひとりは替えがきかない尊い存在なわけですね。自分にとって替わる存在というのは無いわけですね。そういう点からしてお釈迦様がこの世に誕生したときに何と言ったか。ご承知の通り「天上天下唯我独尊」と言ったと言われていると思います。これはもちろん伝説です。生まれたばかりの赤ちゃんが「天上天下唯我独尊」などと言はずなのですね。ところが後代の仏教徒はお釈迦様が誕生した時に、天上天下、我独り尊いと言った、とした。私は10代の半ばの頃、お釈迦さんが誕生して「天上天下唯我独尊」と言ったことを、なんて傲慢な考えだっというふうな受け止めてしまいましたが、お釈迦さんは35歳の時に悟りを開いた。だからそういう偉大な人格なんだ。それを誕生した時の言葉に盛り込んで自分一人が尊いというふうなことを言わせたというふうな理解をしている方が今なお結構いるんですね。けれども、仏滅後の仏教徒達が、人間が誕生したというその瞬間に、お釈迦様の口を借りて「唯我独尊」と言ったんです。自分自身が尊いというところ、この世に誕生した命あるものが尊いということ。お釈迦様の伝記を記したような文献、沢山残っています。命は尊い、命は美しいというふうなことを説く経典はいくつかあります。「天上天下唯我独尊」の正しい理解が必要

です。ですから、その観点でもう一度「天上天下唯我独尊」、皆さん一人ひとりが尊い存在なのだ、そのことを仏教は伝えてくれているということを認識する必要があります。自分だけではなく、一人ひとりがお互いが尊い存在であるという認識。それがあつて、初めて冒頭に述べさせていたいただきましたアインシュタインの言葉の「理解し合うことよってのみ平和が達成されるのだ」と私は思います。日常、私達の生活の中には、自分と違う価値観、自分とは違う意見を持つている人は沢山いるわけですね。その時どういう立場で、自分とは違う考へが述べられているのかということ、相手を理解しようとする姿勢が必要なのですね。そしてさらにはその根底に、私達人ひとりが尊い存在であるというところをしっかりと踏まえ、AIがどれほど進化を遂げたとしても身体を持ち、この命を得た存在、人間というものが、かけがえのない存在であるということを確認しなればと思ひます。ただ気を付けねばならないのは、他の生命体より人間が一番偉いのだというふうなことになる、これはまた自然界を人間が支配するとか、そういう発想に繋が

りかねない。「一切衆生無常なるものは全て尊い。全て命あるものが尊い」という発想。私達の心の底にそれをしっかりと据えておきたいと強く思っているところ

龍谷大学は、89年に瀬田キャンパスを開校いたしました。そして仏教系大学初の理工学部を設置したわけですね。その時に「人間・科学・宗教」という標語を掲げました。創立350年の標語でもありました。科学というものは、車に例えるとアクセル。でもアクセルを踏むだけで

えがいくらでも大きくわけです。ところが、私達人ひとりは替えがきかない尊い存在なわけですね。自分にとって替わる存在というのは無いわけですね。そういう点からしてお釈迦様がこの世に誕生したときに何と言ったか。ご承知の通り「天上天下唯我独尊」と言ったと言われていると思います。これはもちろん伝説です。生まれたばかりの赤ちゃんが「天上天下唯我独尊」などと言はずなのですね。ところが後代の仏教徒はお釈迦様が誕生した時に、天上天下、我独り尊いと言った、とした。私は10代の半ばの頃、お釈迦さんが誕生して「天上天下唯我独尊」と言ったことを、なんて傲慢な考えだっというふうな受け止めてしまいましたが、お釈迦さんは35歳の時に悟りを開いた。だからそういう偉大な人格なんだ。それを誕生した時の言葉に盛り込んで自分一人が尊いというふうなことを言わせたというふうな理解をしている方が今なお結構いるんですね。けれども、仏滅後の仏教徒達が、人間が誕生したというその瞬間に、お釈迦様の口を借りて「唯我独尊」と言ったんです。自分自身が尊いというところ、この世に誕生した命あるものが尊いということ。お釈迦様の伝記を記したような文献、沢山残っています。命は尊い、命は美しいというふうなことを説く経典はいくつかあります。「天上天下唯我独尊」の正しい理解が必要

です。ですから、その観点でもう一度「天上天下唯我独尊」、皆さん一人ひとりが尊い存在なのだ、そのことを仏教は伝えてくれているということを認識する必要があります。自分だけではなく、一人ひとりがお互いが尊い存在であるという認識。それがあつて、初めて冒頭に述べさせていたいただきましたアインシュタインの言葉の「理解し合うことよってのみ平和が達成されるのだ」と私は思います。日常、私達の生活の中には、自分と違う価値観、自分とは違う意見を持つている人は沢山いるわけですね。その時どういう立場で、自分とは違う考へが述べられているのかということ、相手を理解しようとする姿勢が必要なのですね。そしてさらにはその根底に、私達人ひとりが尊い存在であるというところをしっかりと踏まえ、AIがどれほど進化を遂げたとしても身体を持ち、この命を得た存在、人間というものが、かけがえのない存在であるということを確認しなればと思ひます。ただ気を付けねばならないのは、他の生命体より人間が一番偉いのだというふうなことになる、これはまた自然界を人間が支配するとか、そういう発想に繋が

りかねない。「一切衆生無常なるものは全て尊い。全て命あるものが尊い」という発想。私達の心の底にそれをしっかりと据えておきたいと強く思っているところ

りかねない。「一切衆生無常なるものは全て尊い。全て命あるものが尊い」という発想。私達の心の底にそれをしっかりと据えておきたいと強く思っているところ

りかねない。「一切衆生無常なるものは全て尊い。全て命あるものが尊い」という発想。私達の心の底にそれをしっかりと据えておきたいと強く思っているところ

りかねない。「一切衆生無常なるものは全て尊い。全て命あるものが尊い」という発想。私達の心の底にそれをしっかりと据えておきたいと強く思っているところ

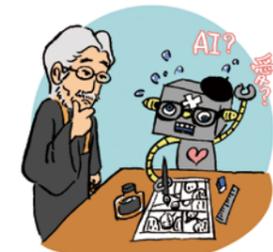


イラスト 宗教部 保田正信



氏名 卒年 学部
山北善輝 20 理工
宮本朋果 20 政策
式月日 5月11日
♥は校友会長の結婚
♥は校友会長名、学長名で祝電をお贈り
します。お申し込みは校友会事務局
まで。



龍谷小町
東京・神奈川県支部合同
開催イベント
3月20日、龍谷小町
「龍谷大学農学部教授
神戸敏成先生と歩く小石
川植物園」が開催されま
した。
東京大学附属植物園の
「小石川植物園」は、日本
でもっとも古い植物園
で、「NHK朝ドラ」ら
んまん三のロケ地というこ
ともあり、「一度訪れた
かった」という参加者33
名で散策しました。
神戸先生のご説明のお
かげで、普通の見学とは違
い、植物への興味が深ま
った散策となりました。
今回の散策イベントで
印象的だったのは、ご家族
でご参加された校友とそ
の他の皆さまとの交流で
した。急坂の下り階段に
出くわした時、「ベビー
カーごと、持ったるで〜」
と、東京のと真ん中で、関
西弁の勇ましい声が。
ベビーカーを抱え階段
を降り、手すりのない狭
い山道階段から男の子が
転げ落ちないようにと、
後ろ向きになって一段ず
つ先導して降りてくれる
校友の皆さま。子連れ
のご家族も参加しやすい
やさしいイベントでした。

愛媛・香川・広島県支部
合同開催イベント
5月19日、愛媛・香川・
広島各県支部の龍谷小
町が、しまなみ海道の
中間にある大三島に集
まって交流を深めよう
というイベントが初めて開
催されました。
当日は愛媛県7人・香
川県5人、広島県4人の
計16人が参加。
大三島の道の駅「多々
羅しまなみ公園」での食
事後は、テレビCMでも有
名な「伯方の塩」工場見学
と塩づくり体験を行いました。
工場では「かん水」
をかき混ぜながら煮詰め
ると見事に真っ白な塩が
出来上がり！参加者全員
のお土産になりました。
この後、南下して浄土
真宗本願寺派万福寺へ。
校友の浅野執持住職から
法話「正信偈について」を
お聞きしました。
参加者は、当日のイベ
ントを振り返り、「さよな
ら、またね」と名残を惜し
みながら、校友会での次
の再会を期して帰路につ
きました。

「結婚おめでとうございます」

ご縁でつながる「龍谷大学校友ご縁めぐり」

ご縁めぐり対象寺院一覧 2024年7月現在

区分	寺院名	校友とのご縁について	
京都	本山修験宗総本山 聖護院門跡	門主 宮城 泰年 師 (文学部1954年卒業)	
	律宗大本山 壬生寺	貫主 松浦 俊昭 師 (文研究科1992年修了)	
	浄土宗西山禅林寺派総本山 永観堂禅林寺	法主 久我 儼昭 師 (文研究科1975年修了)	
	臨済宗建仁寺派大椿山 六道珍皇寺	住職 坂井田 良宏 師 (経済学部1970年卒業)	
	真言宗泉涌寺派 今熊野観音寺	住職 藤田 浩哉 師 (文学部1970年卒業)	
	浄土真宗本願寺派 西本願寺	門主 大谷 光淳 師 (文研究科2005年修了)	
	華嚴宗大本山 東大寺	別当 橋村 公英 師 (文研究科1982年修了)	
	律宗総本山 唐招提寺	副執事長 松浦 俊昭 師 (文研究科1992年修了)	
	融通念仏宗 法徳寺	住職 倍蔵 良明 師 (文学部1977年卒業)	
	浄土真宗本願寺派 浄教寺	住職 島田 春樹 師 (文学部1985年卒業)	
奈良	法相宗大本山 薬師寺	管主 加藤 朝胤 師 (文学部2011年卒業)	
	法相宗別格本山 喜光寺	住職 山田 法胤 師 (文学部1964年卒業)	
	聖徳宗総本山 法隆寺	管長 古谷 正覚 師 (文学部1971年卒業)	
	華嚴宗日輪山 新薬師寺	住職 中田 定観 師	
	浄土真宗本願寺派 本善寺	住職 六雄 真浄 師 (文学部1996年卒業)	
	浄土真宗本願寺派 専立寺	住職 脇屋 大樹 師 (文研究科2009年修了)	
	金峯山修験本宗総本山 金峯山寺	長脇 田中 利典 師 (文学部1979年卒業)	
	本願寺別院関係	築地本願寺	
		鹿児島別院	
		神戸別院	
津村別院			
広島別院			
龍谷大学各キャンパス	(大宮キャンパス) 本館		
	(深草キャンパス) 顕真館		
	(瀬田キャンパス) 樹心館		



ご縁印のめぐり方

- ・参詣した記念(しるし)としてご縁印を押印(記帳)してください。
- ・校友と寺院、校友同士のご縁をつなぐということから名称を「龍谷大学校友ご縁めぐり」とし、押印する印を「ご縁印」としています。
- ・ご縁印の押印(設置)場所は寺院によって異なりますので、HP等をご確認いただき、寺院にてお尋ねください。
- ・日付けはご自身でご記入ください。
- ・ご縁めぐりは、宗派を超えた寺院様のご協力をいただいております。参詣される際は、各寺院の参詣ルール等をご確認ください。

ご縁帳の配布について

- ・龍谷大学校友会の各種イベントにて配布予定です。
- ・龍谷ミュージアムに来館された卒業生にも配布いたします。
- ・ご縁めぐりに関連した様々なイベントを企画中。
- ・龍大グッズや校友会オリジナルグッズが手に入るかも！



※ 詳細は、龍谷大学校友会事務局 (TEL: 075-645-2015) にお問い合わせください。

実際にご縁をめぐってみました！

モデルコース紹介
坂本 弥央さん(左)
 (16年文卒:池坊華道部)
水口 佳菜さん(右)
 (16年文卒:古美術研究会)

ご予算
 交通費: 690円 (市バス230円×2、京阪電車230円)
 拝観料: (無料、卒業生は龍谷ミュージアムも無料)
 お食事: 「イル・ラーゴ」人気メニューを集めた満足プラン (全8品) ~ 120分飲み放題付き ~ : 5,500円

大宮キャンパス

徒歩5分

卒業ぶり～。東費が博物館みたいに綺麗に変身してびっくり！
守衛所はかわってないね
「ご縁帳」とご縁印は守衛所にあるんだ、初ご縁♥
変化していくことの大切さと変わらないことの尊さについて、卒業したから感じるのかな。忘れないようにしたいね。

西本願寺

西本願寺御影堂門向かい側 徒歩3分

西本願寺からは龍谷ミュージアムもすぐ行けるね
ご縁帳はミュージアムでももらえるんだ。
ミュージアムも観覧できてうれしい！

龍谷ミュージアム

京都市営バス28号系統で5駅 西本願寺前→(15分) 壬生寺道下車 南へ徒歩6分

新撰組ファンなら一度は訪れてるよね、壬生寺。阿弥陀堂の中がグッズショップになっていたり、斬新！
大河ドラマの新撰組を見て歴史に興味湧いて、龍大の文学部日本史学専攻を選んだんよ、私。
ご縁印設置場所は阿弥陀堂ではなく、寺務所にあるので迷子注意(笑)

壬生寺

京都市営バス203号系統で15駅 壬生寺道→(30分) 熊野神社前下車 北へ徒歩8分

秋の特別拝観の有料拝観の際に行くのがお奨めだけど、門跡寺院というだけでテンションが上がるよね。
今日は半日、有意義だったね。お腹すいたね。
この会報の8面「校友のお店」に載ってる「IL LAGO」さんにいこ！
賛成！

聖護院門跡

京阪電車鶴東線で1駅 神宮丸太町→三条下車 (7番出口) 河原町三条から一筋北を東へ徒歩10分

※お店の詳細は8面へ

イル・ラーゴ

かんぱ〜い!

83年人学生は一六三九年の創立から数えて第345期生となります。本会は偶然にロンドンオリンピック開催年の12年に始めたことから夏季オリンピックイヤーの4年毎開催と決め、16年には第2回はコロナ禍で断念、6月8日は実に8年ぶりの開催となりました。当日は京都・大阪・兵庫・奈良の近畿圏はじめ北海道や長崎・熊本・大分に至る全国各地16道府県から、宗教学局・学術文化局・体育局の各部と放送局・イヤープック作成委員会といった大学公認課外活動24団体のOB・OG41名が集まりました。当時の学生部長でいらした小川信正校友会副会長にも



サプライズゲストとしてお越しいただき、懐かしい学館跡地の成就館1階の会場ではアラ還であることも忘れて大はしゃぎ。最後は剣道部OB柿内君のエンルと、全員が肩を組んで学歌と追遠歌の大合唱で締めました。

6月25日、都ホテル京都八条で6年ぶりにソフトテニス部の第2回シニアOB・OG会を開催しました。北は横浜、西は北九州と遠方からも含め44名が参加する盛況で、懐かしい方々との久しぶりの再会で思い出話や近況報告に盛り上がりました。



会の中では、40年近く監督を務めた池田庸行さん(70年経済卒)とコーチを10年された大久保孝彦さん(80年経営卒)にソフトテニス部「宝龍会」から花束が贈呈されました。大久保さんは退かれますが、池田さんは総監督として今後も尽力いただきます。

現役生がデザインし、試合やリーグ戦で着用している硬式庭球部のユニフォームが完成しました。このユニフォームをOB・OGにも販売したところ、多くの皆さまにご賛同いただき、製作費との差額を現役生の活動費として支援することができました。



ユニフォームは速乾性のサラとした生地で、テニスの練習着や部屋着・寝間着など、さまざまなお使いが楽しめるスポーツ用Tシャツです。



今年度のリーグ戦ではOB・OGもこのユニフォームを着て応援し、チーム龍谷でリーグ昇格を目指します。

また、公式LINEは現役学生からの試合のラ



7月27日、28日のオレソジ教会盆踊り大会で龍大校友会のブースを出店しました。約5千人が集まり、若い人や学生さんも沢山参加されました。大学進学に興

味のあつ方には龍谷大学案内や校友会記念品を進呈しました。(支部長 中垣紘道)

第345期生学友会同窓会を開催

龍谷大学ソフトテニス部 シニアOB・OG会開催

硬式庭球部OB会からのお知らせ 龍谷大学硬式庭球部ユニフォーム完成

写真部OB・OG会の新年会を今年も開催

味のある方には龍谷大学案内や校友会記念品を進呈しました。(支部長 中垣紘道)

社会学部同窓会

社会学部同窓会設立30周年 社会学部の30年とこれから

～瀬田とさよならするまえに～

7月13日、瀬田キャンパスにて、コロナ禍で延期されていた同窓会設立30周年記念イベントが開催され、約200名の卒業生や教職員のみなさんにご参加いただきました。



25年4月に社会学部が深草キャンパスに移転することから、第1部では、はじめに「レジェンドは語る」と題して、学部開設時から長年に渡り教鞭をとられた亀山佳明名誉教授と長上深雪名誉教授によるリレートークを行い、瀬田キャンパスにおける研究や教育、学生との思い出やエピソードなどを語っていただきました。

続いて、井上辰樹社会学部長からは、「現学部長に聴く～新・社会学部、こう変わる～」と題して、深草キャンパスへ移転する新・社会学部の特色などを魅力たっぷりにご紹介いただき、最後に「卒業生は語る」では、社会学科卒・社会学研究科修士課程修了の桑原桃音さん、コミュニティマネジメント学科卒の下村真代さん、地域福祉学科卒の藤井直弥さんから、それぞれ社会人として今に活かしている瀬田キャンパスでの学びや、新・社会学部への期待とエールを熱く語っていただきました。

第2部の交流懇親会では、ご参加いただいた各界で活躍中の卒業生からそれぞれ近況をお聴かせいただき、和やかな雰囲気の中で、各々に大切な時間をお過ごしただけでした。



社会学部同窓会では、社会学部の深草キャンパスへの移転を契機に、ますます龍谷大学の発展に寄与するとともに、会員相互の交流を図る事業の充実に努めてまいります。

「創立記念降誕会実行委員会卒業生の会」からのご報告

～提灯行列がついに復活！～

5月15日、5年ぶりに、龍谷大学の創立記念を祝う提灯行列が開催されました。円山公園での開会式後、京都の街を提灯行列が進みます。堂々と祇園の街を行進する龍大生の姿が誇らしいです。河原町交差点が閉鎖され、多くの方に見守られ無事に終了。龍谷大学の伝統は見事に受け継がれました。

※ 提灯行列の様子はこちらからどうぞ



龍谷大学硬式テニス同好会 Tips 創設50周年記念祝賀会を開催

6月8日、龍大最古のテニスサークル「Tips」が、創設50周年を記念し、深草キャンパス3号館地下食堂にて祝賀会を開催しました。当日は、国内はもとより、遠くカナダやインドなどからの参加者もあり、総勢143人の大盛況の会となりました。今回のテーマは、「笑顔～大切なものはここにある～」。開会直後より、会場のあちらこちらで、サークルの思い出話や近況報告に花が咲き、終始笑顔が絶えませんでした。創設時より練習用のコート確保に苦労したり、多くの入会希望者が殺到し、止む無く面接を実施して人数を制限せざるを得なかったことなど、創設当時の思い出話などで大いに盛り上がりしました。

学生時代に、Tipsというサークルで苦楽を共にした純粋な友情は今も生き続けており、心から語り合える「すっぴん」の関係は今後も末長く続くことでしょう。残念なことに、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、19年よりTipsは活動を休止してしまっています。そんな状況を踏まえ、最後にTips復活を願う全員の掛け声で幕を閉じました。

(4期会長 熊谷睦史 82年文卒)



支部の周年事業報告

高知県支部 40周年

6月15日、設立40周年記念総会・講演会を対面で開催しました。

岡崎支部長の挨拶に続き、社会学部長井上辰樹先生、校友会森竜樹理事、徳島県支部千葉昭彦支部長からそれぞれ来賓祝辞及び近況報告をいただきました。

総会を経て文学部高田文英教授より、「親鸞聖人と歎異抄の言葉」と題した特別講演をしていただきました。常に「愚」に自分を置く親鸞の生き方を学び、校友各自が身の愚かさに気づくことの大切さを知りました。

龍谷大学「建学の精神」の5つの心は、建学の精神に親しむところに育まれる心として挙げられていることを改めて確認しました。

懇親会では互いの親睦を深め終始和やかな雰囲気、高知の美味しい料理と地酒で大いに盛り上がりました。最後は「学歌」の大合唱に続き、岡崎支部長が在学中に体育局で鳴らした「逍遙の歌」を、大迫力での口上に続き全員で合唱し懇親会を終えました。

(事務局長 吉本明生)



広島県支部 (35周年)

6月29日、支部設立35周年記念公開講演会と総会を対面とZoomのハイブリッド形式で開催しました。

89(平成)年9月28日に支部が設立され、今年には35年目を迎えました。

「かなたからのひかり」という講座で観山正見師(岐阜聖徳学園大学兼短期大学部学長・元国立天文台長・本願寺派長圓寺住職)を講師としてお迎えし、講演をしていただきました。

主な内容は、宇宙の意味、

宇宙の三層構造、現代の宇宙観の基本、星の誕生・進化・爆発、諸行無常・諸法無我、仏教の世界観、仏陀、世界最初の科学者などのお話を、夜空を見ながら、大宇宙に思いをめぐらし、人間はいかに小さな存在であるかを認識しつつ、生命の進化の上で貴重な存在である」と味わい深い言葉で締められました。

(支部長 神鳥誠)

三重県支部 (20周年)

04年、100名の校友が津市内のホテルに集まり、熱気溢れる中、三重県支部が発足しました。14年には、50名の校友が集い10周年の記念総会、懇親会を開催。校友の林家染二師匠の落語を聞きながら和気あいあいと開催しました。しかしながら、昨年、コロナ禍が明け、3年ぶりに総会・懇親会を対面開催したところ、集まった校友は20名に。

24年度は設立20周年記念ということで、まずは懇親会というところで、まずは懇親を深めることを一番の目的に、伊勢志摩サミットの会場となった「志摩観光ホテル」でゆったりとお話ができるひとときを持ちました。

校友会から赤松会長、大代表として神戸事務局長にお越しいただき、様々な



和歌山県・海南有田支部 (15周年)

5月25日、JR湯浅駅に直結したモダンな複合施設「湯浅えき蔵」で総会を開催しました。

田井支部長の挨拶から、農学部長竹歳一紀先生による大学の現状報告を経て、15周年記念事業として第2部では、「幻のラジオ体操第三」と題した講演会を開催。ラジオ体操第一、第二はよく知られていますが、第三は幻と言われていたものを約70年ぶりに復活させ

情報交換をしながら三重県支部の今後の活動を検討していく20周年記念事業となりました。

(支部長 湯上英臣)

たのが、龍谷大学の安西将也・井上辰樹両教授の研究グループということで、当日は、瀬田キャンパスの一般同好会「幻のラジオ体操第三」の学生さん2名による解説と実演をしていただきました。

初めて取り組むラジオ体操第三。約40名の参加者は、汗をかきながらリズムに合わせてラジオ体操をしましたが、15周年記念事業にふさわしい楽しい会となりました。

支部の活動報告

阪神支部

「春の散策く布引ハーブ園で春を満喫」を開催

4月13日、阪神支部神戸モダン塾を開催しました。当日は良く晴れて絶好の行楽日和。山頂へ向かう赤いロープウェイの眼下に布引の滝を優雅に見下ろしながら山頂に着ると、ドイツの古城風のすてきな建物が。しばし美しい花々が咲く庭などを眺めて、レストランで神戸らしいおしゃれなランチを参加者全員で楽しみました。

食事の後は、広大なハーブ園の中をガイドさんに案内していただきながら園内散



大阪・中央支部

「龍谷大学心の講座in大阪」を開催

6月1日、令和6年度総会後、龍谷大学の講座を津村別院(北御堂)で開催しました。講師は校友会長の赤松徹真先生で、「混んとする現代社会と不安を抱える私たち」というテーマでのご講演でした。自分たちが直面している現代社会についてのお話から入り、「私たちはどう生きていくのか」ということを仏教の視



点からお話いただく講演会に、龍谷大学らしい講演会だと実感しました。

一般公開講座としての実施でしたので、支部の活動のひとつが地域社会の学びの場になることを今後も心掛けて活動していきたいと思えます。

(事務局長 堀隆浩)

東京支部

「女子プロボクサー 福家由布季さん応援事業」

6月14日、女子プロボクサーで日本ランキング1位の福家由布季さん(19年文卒)の「日本女子フライ級王座」への初挑戦を応援してきました。

福家選手のご家族や、京都から龍大柔道部の堀田いずみコーチや関係者も応援に駆け付け、全員がお揃いの「福家選手応援オリジナルTシャツ」を着用し応援しました。

試合入場時には応援者が通路両側に並んで福家選手を激励。東京支部では新調した「応援横断幕」を客席から掲げ、試合中はみんなが声を響らして声援を送りました。

福家選手からは「応援が力になり私の背中を押してくれて、最後の最後まで今できることを全て出し切れました」とのメッセージをいただきました。東京支部ではこれからも福家選手の応援を続けてまいります。

(常任理事 松田信二)



社会学部 教授 井上見淳 (01年文院了)

今も使える 仏教用語

「挨拶のある大学」

ある学会の事務局として、同僚の先生と2人で北陸の大学に向いたときのこと。比較的小ぶりのキャンパスに足を踏み入れてみると、「こんにちは」という数人の声がありました。振り返ってみると、その声は私たちに向けられたもので、学生たちはさらに会釈もしてくれました。もちろん初対面です。私は意外な感じがして妙な心持ちがしたものの、「こんにちは」と挨拶を返しました。もうしばらく歩いて目的の建物へと進んでいると、またもやそれ違う学生が「こんにちは！」

「なぜあの時、自分は妙な心持ちがしたのだろう」——考えてみると、龍谷大学では見ず知らずの学生が挨拶をしてくることはあまりないからです。しかしその後、龍谷大学でよく知った課長と歩いている時、その課長はキャンパスの清掃業の方とすれ違う際に、自分から大きな声で「こんにちは！」と笑顔で何度も繰り返

返していました。その時に気づかされたのです。「龍大では学生が挨拶をしないというよりも、そもそも自分から挨拶はしていないかも」と。

「挨拶」とは本来、仏教用語です。「挨拶」も「押す、迫る」の意味で、相手の悟りの浅深をはかるために問答をするという意味の言葉です。ずいぶん力が入った言葉だったので、今ではコミュニケーションの第一歩として、出会いや別れの際の言葉や動作を意味します。ちなみに「軽い挨拶

挨拶」のような意味で用いられる「会釈」と言います。本来「和会通釈」と言いますが、一見矛盾するような内容を「調和させ一つの通じ」とを意味します。二つの言葉をともに、出あった人間同士が、お互いに見えない相手の心を知り、調和をはかるうとしていくという意味で似てますね。

そういえば外国に行ったとき、朝、ホテルの廊下で「Good morning!」あるいは「Hello!」などと挨拶を交わします。また山登りをして

人とも、どちらからともなく挨拶をします。でも、四条河原町を歩いていてすれ違う人とは挨拶はしません。考えてみれば、挨拶はその空間を「共有する者」としてのマナーだと感じた時に挨拶はしやすいのかも思えます。逆にいえば龍谷大学を大きな空間と考えるなら挨拶はしにくいということになりますね。また挨拶をしない人には「恥ずかしい」「知らない人と挨拶をしたくない」といった感覚や警戒心もあるでしょう。それともわかりません。

に、その一員として、その時に、そこにいた——こう考えるなら、何とも縁なことではないでしょうか。私は龍谷大学のあちらこちらで、もし挨拶の声が聞こえるようになるなら、それは素晴らしいことだと思えます。だって北陸の大学の雰囲気はとてすがすがしく素敵でしたから。かく言う私も(こう見えて)照れ屋な人間ですが、まずは「自分から挨拶」運動を始めたいと思います。

みなさんいかがですか？



大阪・北大阪支部

地元のお祭りに今年も出店!

7月27日、28日と支部設立以来続けている『第50回茨木フェスティバル』に出店いたしました。

今年もヨーヨー&スパーボールすくい、お菓子釣り、メダカとドリンクの販売を行い、猛烈な暑さの中、列が途絶えない程の大盛況で、最終日には用意していた商品は完売しました。この出店は北摂エリア在住の校友に支部活動を知っていただくことを目的としていますが、今年も私も龍大卒です!と20名程の方にお声かけをいただき、新たな龍谷の輪が広がりました。また、支部会員のお子さんやお孫さんにもお会いできる貴重な日で、「大きくなったなあ。」「中学校進学おめでとう!」と、まるで親戚の集まりのような温かい雰囲気になりました。

今年には野外活動部の現役学生にもお手伝いをお願いし、10代・80代までのメンバーでまさに「チーム龍谷」での運営になりました。出店を通しての新たなご縁を大切に、今後の支部活動に繋げていきたいと思います。

(理事 中井千夏)

京都市役所近くの人気イタリアンのオーナーから事業継承する形で「IL LAGO(イル・ラーゴ)」を開店したのが17年11月。もともと、そのお店の常連だった堀田さんは、常連だったから引き継いだと



校友のお店 IL LAGO イル・ラーゴ

様々な経験から生まれた ヴェネツィア風 イタリアンバーカロ

堀田 樹さん (10年社会卒)

この理由だけではない。経緯をたどっておられます。龍谷大学時代から、様々な事業を計画して実際に活動されてきたご経験が驚くほど多い堀田さん。

例えば、地元長岡京市の地域活性化を目的とした団体を市の職員の方々と協業して運営し、ゴミ拾いイベントなどを行なったり、学外団体のリーダーとして、様々な他大学の学生100人で富士山の上でおいざりを食べるという企画

や運動会などを実行。学内では「ゼミ連絡会」を復活させて後輩の支援などもされていきました。卒業後は京都で働き、WEB制作会社への転職を経て、その会社の社長のお父さんが所有する長野県の宿泊事業の立て直しを受けることに。「飛ばされた」という受け止め方もあるかもしれませんが、堀田さんは、野尻湖のすぐそばの絶好のロケーションという強みを見出し、効率的



IL LAGO

なオペレーションを考え、お客さんも従業員も気持ちの良い場を作ることを目指した結果、赤字だった宿は1年で黒字に転換。今では予約が取りにくいほどの人気宿に成長させました。

この時のことをSNSで発信していたところ、当時のオーナーが見ておられたことで、他にも数名の事業継承希望者があつた

中、堀田さんに託されました。学生時代の事業、仕事の中でも様々な課題に直面されてきたと思いますが、その経験が、「IL LAGO」をはじめ、今や3店舗の人気の店の経営者の軸になっていると感じます。

そのことが、「チーム全体、会社全体で達成したいゴール、目標に対してスタッフや社員が能動的に動くようにするマネジメント力」につながっていると

あつたからかなと思ひます」とおっしゃる堀田さん。3店舗の特長を伺ったところ、「IL LAGO」はイタリアのヴェネツィアスタイルのバーカロです。気軽にスタンディングで飲むのもよし、テーブルでしっかりお食事もよし。様々な楽しみ方ができるのがバーカロの良いところだと思つています。ワインは500円から、食事は100円から提供しています。



3店舗目、mattiの自家製酵母のパン

口は串揚げとワインと魚のお店です。市場で仕入れた美味しい魚と、油と衣にこだわった串揚げ、厳選されたナチュラルワインのお店です。スタンディングのみのお店で、予約なしで入ってもらおうお店です。堀田は基本的にここにたつてます(笑)。

3店舗目の「matti」は店が焼いている自家製酵母のパンとワインとアテのお店です。パン職人が焼くパンは絶品です。アテもたくさんあるので、昼飲みには最高のお店です」とのこと。

IL LAGO イル・ラーゴ

京都市中京区恵比須町534-29 地下鉄東西線 京都市役所前駅下車 河原町通りを南へ2筋目東入南側 TEL 075-212-8525 平日 15:00~24:00 土日 12:00~24:00 定休日:木曜日 その他不定休

シロトクロ

京都市東山区六軒町206-1 どんぐり会館2F 京阪 祇園四条駅下車 平日 19:00~24:00 土日 18:00~24:00 定休日:木曜日 その他不定休

matti

京都市左京区聖護院東寺領町8-1 京阪 神宮丸太町駅下車 TEL 075-606-4589 月火土日 12:00~19:00 金 16:00~21:00 定休日:水木曜日

仏教に学ぶ

浄土の慈悲

龍谷大学客員教授 真行寺住職

きしまのぶゆき 貴島 信行



プロフィール

51年大阪府生まれ。龍谷大学大学院修士課程修了。龍谷大学講師、中央仏教学院講師、龍谷大学大学院実践真宗学研究科特任教授を経て、現在 龍谷大学客員教授。本願寺派布教使。真行寺住職。専門分野は真宗学、真宗伝道学。

「浄土の慈悲」は、『歎異抄』第四条に親鸞聖人の法語として取り上げられていきます。そこでは「慈悲」「大慈大悲心」「大慈悲心」など同類の語が多く出ており、念仏の救いと慈悲の関係性が述べられています。結論からい

念仏申すべきことを勧められるのです。人間を救済する道を偽りなく誤りなく他者に語り伝え、かつ仏と同じさ

た。『和讃』には「仏慧功徳をほめしめて 十方の有縁にきかしめん」とよるこびをもつて讃えら

この世で自己が他の誰よりも愛おしいという我愛の

浄土とは仏の智慧と慈悲が完成された世界です。智慧をさるとことは

益のため」に三部経千部読誦を發願し試みられたこと、また門弟に宛てた

一方的な自国優先主義にまでに拡がっています。

令和6年度 第3回 龍谷大学「心の講座」 11/30(土)



貴島 信行氏 龍谷大学客員教授

「浄土の慈悲」



三好 荒山氏 尺八演奏家、2021年度龍谷特別賞

「尺八とお琴による演奏」

演目：独奏「都山流本曲 峰の月」(流祖 中尾都山作曲) 合奏「春の海」(宮城道雄作曲) 箏・三好晃子氏

- ◆日時 11月30日(土) 開場 12:00 開演 13:00
- ◆会場 龍谷大学大宮キャンパス 東覺 101 教室 〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125-1
- ◆参加費 無料 (要事前申し込み、先着 300名)
- ◆申込開始日 10月30日(水) 9:00~
- ◆申し込み 龍谷大学校友会 HP



編集後記

今年の7月の平均気温は、126年の統計史上で「最も暑い7月」だったそうです。

そのためか今年の熱中症情報や文書も、「注意・警戒」から、「極めて危険・危険」という表現を目にするのが多くなりました。確かに、7月のゴルフでも、立ち眩み

健康に留意することも心の若さを保つ大事なファクターであると痛感した、今年の夏でした。(校友会理事 清水卓智)